

～夢に向かい、つながりの中で主体的に生きていこうとする子をめざして～

絆

<めざす子ども像>

【学力・習慣】 自分を大切にできる子

【仲間づくり】 他とのつながりを大切にできる子

人権教育部 取組の重点

研究：確かな学力を身につけた子どもの育成（学力）

人指：豊かな人間関係を築ける子どもの育成（人権意識）

生指：目標に向かって努力する子どもの育成（自己指導力）

人権指導部

人権指導目標『教職員同士の人権意識を高め、**《徳》**
心豊かによりよい人間関係を築ける子を育む』

<めざす子ども像> ・自分や友達のよさやちがいを認め合える子
・正しい知識を身に付け、正しく判断し行動できる子

○キズナ学習（人権学習）

- ・男女平等にかかわる課題について
- ・障害のある人にかかわる課題について
- ・外国の人にかかわる課題について
- ・生命健康にかかわる課題について
- ・情報モラルにかかわる課題について
- ・さまざまな人権にかかわる課題について
- ・将来展望について

豊かな心の育成

- 総合育成支援部との連携
- ・LD等教育支援
- ・交流教育
- ・育成教育

○社会科・道徳・総合的な学習の時間・学校行事等を通して、いじめや人権にかかわる学習を行う。

研究部

《知》

研究主題『夢に向かって輝く探究力の育成』

こども自らが必要感、切実感のある課題を探究的に解決し、学んだことを生活に生かしたり地域に貢献したりしていく経験を積み重ねることで、子どもたちの探究力を育成する。また、子どもが探究の過程で自分や友達のよさに気づいたり、自分にも地域の課題を解決する力があるという自己有用感を高めたりすることで、自分の将来を切り拓こうとしたり社会をよりよくしようとしたりする意欲を育む。

確かな学力の育成

- ・「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を大切にした授業
- ・毎日の家庭学習、自学自習の習慣化
- ・読書活動の充実・つながりを大事にした学級経営

生活指導部

《体》

指導方針『目指す子ども像の実現のため、
チーム竹田全員で取り組む生活指導』

<めざす子ども像>

- ・基本的な生活習慣を確立する子ども
- ・当たり前のことを当たり前に行える子ども

健やかな体の育成

（児童理解を基盤とした学級経営）

- ・みそあじ運動（みじたく、そうじ、あいさつ、じかん）の徹底
- ・学習計画表の活用
- ・学校のきまりについての共通理解
- ・食（給食）に関する指導
- ・教育環境の整備
- ・保護者や地域の方との連携
- ・問題行動（いじめ等の防止、早期の発見・対応）

「1人1人を徹底的に大切にする教育」

目の前の子どもたちの実態から、子どもたちの背景にまで迫り、子どもを理解し、具体的な実践を行う

< 学年・学級経営 >